

Title	競争優位の持続性に関する一考察 - M社のSISの事例研究を中心として -
Sub Title	
Author	猪塚隆夫 柳原一夫
Publisher	慶應義塾大学大学院経営管理研究科
Publication year	1990
Jtitle	
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	修士学位論文. 1990年度経営学 第735号 複写許諾が必要
Genre	Thesis or Dissertation
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00001990-0735">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00001990-0735</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

学生氏名 猪塚 隆夫

主査 柳原 一夫

副査 伏見多美雄

古川 公成

所属 柳原 一夫 研究室

## 競争優位の持続性に関する一考察

### － M社のS I Sの事例研究を中心として －

本論文は、S I Sによる競争優位の持続性について、競合企業と比較した場合の、相対的な強さを分析することを主題としている。

その分析を行うにあたって、まず独自のS I Sの定義を行い、そして、その定義に基づいた分析のフレームワークを構築した。S I Sの定義内容は、「S I Sとは、企業の競争力の主要な役割の一部を担う情報システム。その目的は、企業の競争力の優位性と持続性を高めることにある。」である。S I Sは、この定義文中の「企業の競争力」と結び付くことによって、その競争優位性を発揮することができる。従ってS I Sによる競争優位の持続性を分析することは、この企業の競争力の持続性を分析することに他ならないのである。

このことを前提として、事例分析では、まず最初にS I Sと結び付く企業の競争力が、何であるのかを明確にすることをを行った。そして、この企業の競争力の持続性について、環境の変化と、競合他社の対抗策の、2つの要因からの影響度を分析し、その分析結果に基づき、持続性の強さを判断している。

事例の対象としては、スポーツ用品業界の、ミズノとアシックスの2つのS I Sを取り上げている。ミズノのS I Sは、自社の競争力を強化する目的であるのに対し、アシックスのS I Sは、ミズノの競争力を模倣することを目的としている。これらの2つのS I Sが、ミズノの競争力の持続性に対して、どのような影響を及ぼすかについてが、事例分析の中心となっている。